

2009年度第2回 JA 北海道厚生連札幌厚生病院治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2009年5月20日(水) 17:00 ~ 18:20
開催場所	JA 北海道厚生連札幌厚生病院 第1会議室
出席委員名	狩野 吉康、三輪 聰一、大島 倫、妻木 良二、関口 雅友、本谷 聰、森 雅樹、益子 博幸、高橋 博之、門 正則、星 伸昭
議論及び審議結果を含む主な議論の概要	
新規の治験	
議題1	味の素株式会社の依頼による AJM300 の第Ⅱ相試験
	これまでに得られている非臨床試験および臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
	審議結果: 承認
議題2	味の素株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした AJG501 の第Ⅱ/Ⅲ相試験
	これまでに得られている非臨床試験および臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
	審議結果: 承認
議題3	あすか製薬株式会社の依頼による AKP-004(カプセル剤)の臨床薬理試験(薬力学)
	これまでに得られている非臨床試験および臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
	審議結果: 承認
継続中の治験	
議題1	ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による心血管及び腎イベント発症のハイリスク 2 型糖尿病患者を対象とした SPP100(アリスキレン)の第Ⅲ相試験
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	治験実施計画書および説明文書、同意文書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	審議結果: 承認
議題2	田辺三菱製薬株式会社の依頼によるクローン病を対象とした TA-650 の第Ⅲ相試験
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	人事異動に伴う治験責任医師の職名変更について報告された。
	治験協力者の追加について報告された。
	審議結果: 承認
議題3	アボット ジャパン株式会社の依頼による日本人クローン病患者を対象とした D2E7 の第Ⅱ/Ⅲ相試験
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。
	当院で発生した重篤な有害事象(2件)について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
	治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。
	人事異動に伴う治験責任医師の職名変更について報告された。
	治験協力者の追加について報告された。
	審議結果: 承認
議題4	アボット ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたアダリムマブ(D2E7)の第Ⅱ/Ⅲ相試験
	当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。

	<p>治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>人事異動に伴う治験責任医師の職名変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
	審議結果:承認
議題 5	<p>ヤンセン フーマ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした CNT0148 の第 II/III 相試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>説明文書、同意文書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>人事異動に伴う治験責任医師の職名変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
	審議結果:承認
議題 6	<p>ヤンセン フーマ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした CNT0148 の第 III 相試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>説明文書、同意文書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>人事異動に伴う治験責任医師の職名変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
	審議結果:承認
議題 7	<p>味の素株式会社の依頼によるクローン病を対象とした AJM300 の第 II/III 相試験</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>人事異動に伴う責任医師の職名変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
議題 8	<p>武田薬品工業株式会社の依頼による低用量アスピリン長期投与患者を対象とした AG-1749(ランソプラゾール)の第 III 相試験(長期併用継続投与試験)</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および当該治験薬に関する研究報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>人事異動に伴う治験分担医師の職名変更について報告された。</p>
	審議結果:承認
議題 9	<p>エーザイ株式会社の依頼による難治性逆流性食道炎患者を対象とした E3810(ラベプラゾールナトリウム)の第 II/III 相試験</p> <p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>治験実施計画書および治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>人事異動に伴う治験分担医師の職名変更について報告された。</p>
	審議結果:承認
議題 10	<p>ソルベイ製薬株式会社の依頼による慢性膀胱非代償期又は膀胱切除による膀胱外分泌機能不全に対する SA-001 の第 III 相試験(二重盲検群間比較試験)</p> <p>治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
	審議結果:承認
議題 11	<p>ソルベイ製薬株式会社の依頼による慢性膀胱非代償期又は膀胱切除による膀胱外分泌機能不全に対する SA-001 の第 III 相試験(長期投与試験)</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>

議題 12	バイエル薬品株式会社の依頼による根治的治療不能の肝細胞癌に対して肝動脈塞栓化学療法(TACE)を施行した患者を対象とした BAY 43-9006 の第Ⅲ相試験
	<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および国内添付文書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
審議結果：承認	
議題 13	興和株式会社の依頼による C 型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象とした NIK-333 の第Ⅱ／Ⅲ相試験
	<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>治験実施計画書の変更の妥当性について審議した。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
審議結果：承認	
議題 14	シェリング・プラウ株式会社の依頼による IFN 治療歴のある C 型慢性肝炎患者を対象とした SCH 54031 の第Ⅲ相試験
	<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>治験実施計画書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
審議結果：承認	
議題 15	シェリング・プラウ株式会社の依頼による C 型代償性肝硬変を対象とした SCH54031+リバビリンの第Ⅲ相試験
	治験の終了について報告された。
議題 16	シェリング・プラウ株式会社の依頼による Genotype1 かつ高ウイルス量の C 型慢性肝炎患者(低体重)を対象とした低用量リバビリン+ペグインターフェロンアルファ-2b の製造販売後臨床試験
	治験協力者の追加について報告された。
議題 17	田辺三菱製薬株式会社の依頼による C 型慢性肝炎(初回治療例)を対象とした MP-424 の第Ⅲ相試験
	<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
審議結果：承認	
議題 18	田辺三菱製薬株式会社の依頼による C 型慢性肝炎(前治療後再燃例)を対象とした MP-424 の第Ⅲ相試験
	<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
審議結果：承認	
議題 19	田辺三菱製薬株式会社の依頼による C 型慢性肝炎(前治療無効例)を対象とした MP-424 の第Ⅲ相試験
	<p>当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。</p> <p>軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。</p> <p>治験協力者の追加について報告された。</p>
審議結果：承認	
議題 20	中外製薬株式会社の依頼による B 型慢性肝炎患者を対象とした Ro25-8310(ペグインターフェロ

	ン アルファ-2a)の第Ⅱ/Ⅲ相試験
当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。	
審議結果：承認	
議題 21 大日本住友製薬株式会社の依頼による C 型代償性肝硬変患者を対象とした HLBI の第Ⅲ相試験	
説明文書、同意文書の変更の妥当性について審議した。 治験協力者の追加について報告された。	
審議結果：承認	
議題 22 東レ株式会社の依頼による TRK-820 の第Ⅱ相試験	
軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。 治験協力者の追加について報告された。	
審議結果：承認	
議題 23 ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患患者を対象とした QAB149 の第Ⅲ相試験(二重盲検試験)	
当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。	
審議結果：承認	
議題 24 ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による慢性閉塞性肺疾患患者を対象とした QAB149 の第Ⅲ相試験(長期投与試験)	
当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。	
審議結果：承認	
議題 25 あすか製薬株式会社の依頼による AKP-004(カプセル剤)の臨床薬理試験(薬物動態)	
軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。 以下の迅速審査について報告された。 契約症例数の追加(平成 21 年 4 月 21 日(火)実施：承認)	
議題 26 第一三共株式会社の依頼による人工膝関節全置換術施行患者を対象とした DU-176b の第Ⅲ相試験	
治験実施計画書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。	
審議結果：承認	
議題 27 ヤンセン ファーマ株式会社の依頼による帯状疱疹後神経痛、CRPS 又は術後疼痛症候群を対象とした JNS020QD の第Ⅲ相試験(二重盲検比較試験)	
当該治験薬で発生した重篤な有害事象報告および当該治験薬に関する外国措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。治験の継続に問題はなく、同意文書の改訂も不要と判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 治験実施計画書および治験薬概要書の変更の妥当性について審議した。また、軽微な治験実施計画書等の変更について報告された。 以下の迅速審査について報告された。 被験者募集ポスターの掲示(平成 21 年 4 月 24 日(金)実施：承認)	
審議結果：承認	
議題 28 サノフィ・アベンティス株式会社の依頼による静脈血栓塞栓症を対象とした RP54563 の第Ⅲ相試験	
製造販売承認の取得について報告された。	
【製造販売後調査】	
報告事項：終了 1 件	
審議事項：新規 1 件承認	
【特記事項】	